

骨子・構成案			担当
大	中	小	
はじめに			松本委員長
審議の経過について			事務局
1 仙台市における現状 —こどもの学びと居場所—	1 (1) こどもの学びの場		事務局
	1 (2) こどもの居場所とそこでの学び		
	1 (3) 外国にルーツを持つこどもたちの現状		
	1 (4) まとめ		松本委員長
2 こどもの学ぶ喜びと居場所について (総論) (総論・共通事項 ※提言の骨子含む)	2 (1) 学び	①やりたいことができ、何もしなくてもよい(学びの特徴) 【地域】	松本委員長 朴副委員長
		②安心・安全で失敗できる環境(学びの環境) 【地域】	
		③多様性に応じた包摂的な環境(学びの環境) 【外国】	
		④地域とのつながりによる学び(学びづくりの方法) 【外国】	
	2 (2) 居場所	①こどもと親それぞれに必要な居場所(居場所の対象) 【地域】	
		②学校の重要性(居場所の場所) 【外国】	
		③利用のしやすさと多様性(居場所の種類) 【地域】	
		④地域や社会とのつながり(居場所づくりの方法) 【外国】	
	2 (3) キーパーソン(人とのつながり)	①市民の力の育成と活用(キーパーソンの種類) 【地域】【外国】	
		②学校への支援(キーパーソンの種類) 【外国】	
		③後継者育成(キーパーソンの種類) 【外国】	
	2 (4) 行政の支援	①経済的支援 【地域】	
		②場所の支援 【地域】	
		③学校との連携 【外国】	
		④NPOやボランティアとの連携 【外国】	
	3 地域におけるこどもの学びと居場所 (各論1)	3 (1) はじめに	
3 (2) 学び		①こどもの学び	阿部委員・安藤委員
		②大人の学び(こどもを取り巻く大人)	
3 (3) 居場所のあり方		①こどもの居場所のあり方	高橋美和委員・松本委員長
		②大人の居場所のあり方	
3 (4) キーパーソン(人とのつながり)		①支援者の思い	中山委員・沼里委員
		②後継者育成、人材確保の支援等	
3 (5) 行政の支援		①経済的支援	内藤委員
		②場所の提供	
		③人への支援	
3 (6) 小括		松本委員長	
4 外国にルーツを持つこどもの学びと居場所 (各論2)	4 (1) はじめに	調査先の概要、市公表データの分析、現状の問題点等	泉山委員
	4 (2) 学び	①こどもにとっての学び	高橋由臣委員・齋藤委員
		②こどもの学びを支える保護者への支援と彼らの学び	
	4 (3) 居場所	①外国にルーツを持つ人にとって、居場所とは何か	齋藤委員
		②学校教育における居場所	高橋由臣委員
		③社会教育における居場所	朴副委員長
	4 (4) キーパーソン(人とのつながり)	①地域の人の事例(キーパーソンの種類、後継者育成、人材探しの支援等)	泉山委員・朴副委員長
		②外国にルーツを持つこどもたちが、将来どんな影響をもたらすか	朴副委員長
	4 (5) 行政の支援	①こどもへの周知方法(特に義務教育後)	若生委員
		②居場所づくりの機運醸成・場所の提供	泉山委員
4 (6) 小括		泉山委員	
おわりに			朴副委員長